



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月13日

上場会社名 株式会社じもとホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7161 URL <https://www.jimoto-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 尾形 毅 (TEL) 022(722)0011
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	10,563	△1.2	1,616	72.2	829	4.6
2021年3月期第1四半期	10,700	7.1	938	40.9	792	54.2

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 100百万円 (△96.2%) 2021年3月期第1四半期 2,645百万円 (700.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	38.64	8.47
2021年3月期第1四半期	44.43	9.94

(注1) 当社は、「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託 (BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(注2) 当社は、2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式について10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,723,953	116,102	4.2
2021年3月期	2,663,931	116,425	4.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 115,883百万円 2021年3月期 116,206百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	ー	1.50	ー	10.00	ー
2022年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2022年3月期(予想)	ー	10.00	ー	10.00	20.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(注3) 当社は、2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式について10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2021年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。当該株式併合の影響を考慮しない場合は1円00銭となります。また、年間配当金合計については、単純合算が適切でないため、「ー」と表示しております。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,400	△1.3	1,200	—	49.83
通期	3,700	—	3,100	—	132.27

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	21,540,263株	2021年3月期	21,540,263株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	80,169株	2021年3月期	79,492株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	21,460,429株	2021年3月期1Q	17,833,042株

(注)

1. 当社は、2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式について10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。
2. 期末自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式数（2022年3月期1Q32,600株、2021年3月期32,600株）が含まれております。
3. 期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式数（2022年3月期1Q32,600株、2021年3月期1Q37,220株）が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

B種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—				
2022年3月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 2022年3月期第2四半期末(予想)及び2022年3月期末(予想)の配当については、2021年7月9日に預金保険機構が公表した震災特例金融機関等の「優先配当年率としての資金調達コスト(令和2年度)」に基づき算出しております。なお、「優先配当年率としての資金調達コスト(令和2年度)」は0.00%であります。

C種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	1.29	—	12.96	—
2022年3月期	—				
2022年3月期 (予想)		13.06	—	13.06	26.12

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は、2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式について10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2021年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。当該株式併合の影響を考慮しない場合は1円29銭となります。また、年間配当金合計については、単純合算が適切でないため、「—」と表示しております。

D種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—				
2022年3月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 2022年3月期第2四半期末(予想)及び2022年3月期末(予想)の配当については、2021年7月9日に預金保険機構が公表した震災特例金融機関等の「優先配当年率としての資金調達コスト(令和2年度)」に基づき算出しております。なお、「優先配当年率としての資金調達コスト(令和2年度)」は0.00%であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	7
(参考) 2022年3月期 第1四半期決算説明資料	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金の減少等により資金運用収益が減少したことなどから、前第1四半期連結累計期間比1億36百万円減少の105億63百万円となりました。経常費用は、国債等債券償還損の減少によりその他業務費用が減少したことなどから、前第1四半期連結累計期間比8億14百万円減少の89億47百万円となりました。その結果、経常利益は、前第1四半期連結累計期間比6億77百万円増加の16億16百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1四半期連結累計期間比36百万円増加の8億29百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、前連結会計年度末比600億21百万円増加の2兆7,239億53百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末比3億23百万円減少の1,161億2百万円となりました。

主な勘定残高につきましては、貸出金残高は、中小企業等貸出金が減少したことなどから前連結会計年度末比30億46百万円減少の1兆8,417億26百万円となりました。預金残高（譲渡性預金含む）は、前連結会計年度末比553億27百万円増加の2兆5,237億29百万円となりました。有価証券残高は、前連結会計年度末比26億52百万円増加の5,429億90百万円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、株式会社きらやか銀行単体の当四半期末における貸出金残高は前事業年度末比20億61百万円減少し1兆79億63百万円、預金残高（譲渡性預金含む）は前事業年度末比308億円増加し1兆3,073億58百万円となりました。株式会社仙台銀行単体の当四半期末における貸出金残高は前事業年度末比73百万円減少し8,367億5百万円、預金残高（譲渡性預金含む）は前事業年度末比245億48百万円増加し1兆2,185億15百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経常利益は、2021年5月14日に公表しました2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想の数値を上回っておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により地域経済の動向が不透明であることから、現時点において業績予想の修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
現金預け金	203,938	264,181
買入金銭債権	829	808
金銭の信託	2,947	2,947
有価証券	540,337	542,990
貸出金	1,844,772	1,841,726
外国為替	521	445
リース債権及びリース投資資産	12,509	12,522
その他資産	31,998	33,035
有形固定資産	23,265	23,177
無形固定資産	1,154	1,090
退職給付に係る資産	3,819	4,003
繰延税金資産	3,586	3,356
支払承諾見返	6,974	6,875
貸倒引当金	△12,723	△13,207
資産の部合計	2,663,931	2,723,953
負債の部		
預金	2,289,070	2,344,655
譲渡性預金	179,331	179,074
コールマネー及び売渡手形	11,700	11,700
借入金	39,197	43,537
外国為替	0	0
その他負債	17,319	18,365
賞与引当金	372	182
退職給付に係る負債	92	97
睡眠預金払戻損失引当金	358	331
偶発損失引当金	355	348
繰延税金負債	1,170	1,120
再評価に係る繰延税金負債	1,561	1,561
支払承諾	6,974	6,875
負債の部合計	2,547,506	2,607,851
純資産の部		
資本金	18,750	18,750
資本剰余金	68,879	68,879
利益剰余金	24,608	25,017
自己株式	△86	△86
株主資本合計	112,152	112,560
その他有価証券評価差額金	877	125
土地再評価差額金	3,401	3,401
退職給付に係る調整累計額	△224	△204
その他の包括利益累計額合計	4,054	3,322
非支配株主持分	219	218
純資産の部合計	116,425	116,102
負債及び純資産の部合計	2,663,931	2,723,953

(株)じもとホールディングス(7161) 2022年3月期 第1四半期決算短信

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
経常収益	10,700	10,563
資金運用収益	7,543	7,171
(うち貸出金利息)	5,470	5,459
(うち有価証券利息配当金)	2,041	1,667
役務取引等収益	1,364	1,634
その他業務収益	333	334
その他経常収益	1,459	1,422
経常費用	9,761	8,947
資金調達費用	107	77
(うち預金利息)	81	56
役務取引等費用	1,006	983
その他業務費用	1,380	274
営業経費	5,971	5,818
その他経常費用	1,295	1,794
経常利益	938	1,616
特別利益	—	5
固定資産処分益	—	5
特別損失	6	31
固定資産処分損	5	22
減損損失	1	8
税金等調整前四半期純利益	931	1,590
法人税、住民税及び事業税	32	247
法人税等調整額	111	512
法人税等合計	143	759
四半期純利益	788	831
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	792	829

(株)じもとホールディングス(7161) 2022年3月期 第1四半期決算短信

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	788	831
その他の包括利益	1,856	△731
その他有価証券評価差額金	1,830	△751
退職給付に係る調整額	26	20
四半期包括利益	2,645	100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,647	97
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、役務取引等収益に係る契約のうち履行義務が一定の期間にわたり充足されるものについて、従来は契約開始時に一時点で収益を認識しておりましたが、履行義務を充足するにつれて収益を認識する方法に変更しております。また、他社が運営するポイントプログラムにかかるポイント相当額について、従来は役務取引等費用として計上しておりましたが、ポイント相当額を差し引いた金額で役務取引等収益を計上する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の適用初年度の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、利益剰余金の当期首残高は75百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下、「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる当第1四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(株式給付信託 (BBT))

当社は、当社及び当社子会社である株式会社きらやか銀行並びに株式会社仙台銀行（以下、「当社グループ」という。）の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。以下、「対象役員」という。）に対して業績連動型の株式報酬制度「株式給付信託 (BBT) 」を導入しております。

1. 取引の概要

当社が拠出する金銭を原資として、本制度に基づき設定される信託を通じて当社株式を取得します。取得した当社株式は、対象役員に対して、当社グループが定める「役員株式給付規程」に従い受益者要件を満たした者に当社株式等を給付します。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。

当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末40百万円、32千株、当第1四半期連結会計期間末40百万円、32千株であります。

(新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う貸倒引当金の追加計上)

当第1四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う貸倒引当金の追加計上に用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の（重要な会計上の見積り）に記載した内容から重要な変更は行っておらず、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済活動の停滞は当連結会計年度にわたり続くものと仮定し、貸倒引当金の見積りに反映しております。具体的には、今後の事業へ一定の影響があるものとした一部の債務者に係る債権について予想損失率に修正を加えて、貸倒引当金の追加計上を行っております。

なお、個別債務者の業績変化又は新型コロナウイルス感染症の感染状況やその経済への影響の変化等により、当初の見積りに用いた仮定が変化した場合は、当第1四半期連結会計期間後の連結財務諸表における貸倒引当金に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(参考) 2022年3月期 第1四半期決算説明資料

1. 損益の状況

(1) じもとホールディングス【連結】

2022年3月期第1四半期の連結経常収益は、前年同期比1億36百万円減少の105億63百万円となりました。経常利益は、前年同期比6億77百万円増加の16億16百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比36百万円増加の8億29百万円となりました。

					(単位：百万円)
		2022年3月期 第1四半期 (3カ月間) (A)	2021年3月期 第1四半期 (3カ月間) (B)	増減 (A)-(B)	(参考) 前期 2021年3月期 (12カ月間)
連結経常収益	1	10,563	10,700	△ 136	44,089
連結業務粗利益	2	7,806	6,746	1,059	25,363
資金利益	3	7,094	7,435	△ 341	27,624
役員取引等利益	4	651	358	293	2,694
その他業務利益	5	60	△ 1,047	1,108	△ 4,955
営業経費 (△)	6	5,818	5,971	△ 153	23,827
貸倒償却引当費用 (△)	7	499	48	450	4,013
貸出金償却 (△)	8	2	1	0	83
個別貸倒引当金繰入額 (△)	9	489	-	489	2,305
一般貸倒引当金繰入額 (△)	10	△ 5	-	△ 5	1,273
債権売却損 (△)	11	-	-	-	80
偶発損失引当金繰入額 (△)	12	-	-	-	15
信用保証協会責任共有制度負担金 (△)	13	13	46	△ 33	255
その他 (△)	14	-	-	-	-
貸倒引当金戻入益	15	-	81	△ 81	-
株式等関係損益	16	74	△ 0	75	△ 117
偶発損失引当金戻入益	17	6	20	△ 13	-
持分法による投資損益	18	5	5	△ 0	30
その他損益	19	41	105	△ 63	289
経常利益	20	1,616	938	677	△ 2,275
特別損益	21	△ 25	△ 6	△ 18	△ 333
税金等調整前四半期純利益	22	1,590	931	659	△ 2,609
法人税等合計 (△)	23	759	143	616	566
法人税、住民税及び事業税 (△)	24	247	32	215	366
法人税等調整額 (△)	25	512	111	401	200
四半期純利益	26	831	788	42	△ 3,175
非支配株主に帰属する 四半期純利益	27	1	△ 3	5	1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	28	829	792	36	△ 3,176

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. (連結) 業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用 (※)) + (役員取引等収益 - 役員取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(※) じもとホールディングス【連結】、2行合算及び子銀行単体の資金調達費用については、金銭の信託運用見合費用を控除しております。

(株)じもとホールディングス(7161) 2022年3月期 第1四半期決算短信

(2) 2行合算

(単位：百万円)

		2022年3月期 第1四半期 (3カ月間) (A)	2021年3月期 第1四半期 (3カ月間) (B)	増 減 (A) - (B)	(参考) 前期 2021年3月期 (12カ月間)
経 常 収 益	1	9,381	9,633	△ 251	38,762
業 務 粗 利 益 ①	2	7,937	6,858	1,078	25,230
(コア業務粗利益(①-②))	3	7,934	7,971	△ 36	32,779
資 金 利 益	4	7,276	7,594	△ 317	27,771
役 務 取 引 等 利 益	5	602	301	300	2,426
そ の 他 業 務 利 益	6	58	△ 1,037	1,095	△ 4,968
(うち国債等債券損益)②	7	2	△ 1,112	1,114	△ 7,549
経費(除く臨時処理分) (△)	8	5,669	5,799	△ 130	23,060
人 件 費 (△)	9	2,787	2,907	△ 120	11,531
物 件 費 (△)	10	2,420	2,451	△ 30	9,627
税 金 (△)	11	461	440	20	1,901
実 質 業 務 純 益 ③	12	2,267	1,058	1,209	2,170
コア業務純益(③-②)	13	2,265	2,171	94	9,719
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	2,265	741	1,524	7,461
一般貸倒引当金繰入額(△)④	15	27	91	△ 63	1,289
業 務 純 益	16	2,239	967	1,272	880
臨 時 損 益	17	△ 506	92	△ 598	△ 3,259
うち株式等関係損益	18	74	△ 0	75	△ 124
うち不良債権処理額(△)⑤	19	503	88	415	2,760
うち貸倒引当金戻入益⑥	20	7	188	△ 181	-
うち偶発損失引当金戻入益⑦	21	17	42	△ 25	48
うち償却債権取立益	22	4	5	△ 0	34
経常利益(△は経常損失)	23	1,733	1,060	673	△ 2,378
特 別 損 益	24	△ 37	△ 6	△ 30	△ 345
税引前四半期純利益(△は税引前四半期純損失)	25	1,695	1,053	642	△ 2,724
法人税、住民税及び事業税(△)	26	237	21	215	339
法 人 税 等 調 整 額 (△)	27	500	136	364	74
四半期純利益(△は四半期純損失)	28	957	894	62	△ 3,138
与信関係費用(④+⑤-⑥-⑦)	29	507	△ 51	559	4,001

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 子銀行単体

①きらやか銀行

2022年3月期第1四半期の経常収益は、前年同期比7億61百万円減少の51億23百万円となりました。
銀行本来の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したこと等により、前年同期比5億98百万円減少の12億87百万円となりました。
経常利益は、前年同期比6億38百万円増加の12億33百万円、四半期純利益は前年同期比2億17百万円増加の7億18百万円となりました。

						(単位：百万円)
		2022年3月期 第1四半期 (3カ月間) (A)	2021年3月期 第1四半期 (3カ月間) (B)	増 減 (A) - (B)	(参考) 前期 2021年3月期 (12カ月間)	
経 常 収 益	1	5,123	5,885	△ 761	22,335	
業 務 粗 利 益 ①	2	4,378	4,010	367	12,083	
(コア業務粗利益(①-②))	3	4,379	5,124	△ 745	19,278	
資 金 利 益	4	3,884	4,819	△ 935	15,187	
役 務 取 引 等 利 益	5	427	263	163	1,584	
そ の 他 業 務 利 益 (うち国債等債券損益)②	6	67	△ 1,072	1,140	△ 4,687	
	7	△ 0	△ 1,113	1,112	△ 7,194	
経費(除く臨時処理分)(△)	8	3,092	3,238	△ 146	12,730	
人 件 費(△)	9	1,495	1,586	△ 90	6,330	
物 件 費(△)	10	1,349	1,414	△ 65	5,428	
税 金(△)	11	247	237	9	971	
実 質 業 務 純 益 ③	12	1,286	771	514	△ 647	
コ ア 業 務 純 益 (③-②)	13	1,287	1,885	△ 598	6,547	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	1,287	467	819	4,377	
一般貸倒引当金繰入額(△)④	15	-	91	△ 91	827	
業 務 純 益	16	1,286	680	605	△ 1,474	
臨 時 損 益	17	△ 52	△ 85	33	△ 2,889	
うち株式等関係損益	18	1	0	0	△ 132	
うち不良債権処理額(△)⑤	19	-	41	△ 41	2,415	
うち貸倒引当金戻入益⑥	20	7	-	7	-	
うち偶発損失引当金戻入益⑦	21	17	-	17	-	
うち償却債権取立益	22	3	3	△ 0	25	
経常利益(△は経常損失)	23	1,233	595	638	△ 4,364	
特 別 損 益	24	-	-	-	△ 335	
税引前四半期純利益(△は税引前四半期純損失)	25	1,233	595	638	△ 4,699	
法人税、住民税及び事業税(△)	26	138	17	121	30	
法 人 税 等 調 整 額 (△)	27	376	76	299	125	
四半期純利益(△は四半期純損失)	28	718	501	217	△ 4,855	
与信関係費用(④+⑤-⑥-⑦)	29	△ 24	132	△ 157	3,242	

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

②仙台銀行

2022年3月期第1四半期の経常収益は、前年同期比5億10百万円増加の42億58百万円となりました。
銀行本来の収益力を表すコア業務純益は、資金利益及び役務取引等利益が増加したこと等により、前年同期比6億92百万円増加の9億78百万円となりました。
経常利益は、前年同期比34百万円増加の4億99百万円、四半期純利益は、法人税等合計の増加により前年同期比1億54百万円減少の2億39百万円となりました。

		2022年3月期 第1四半期 (3カ月間) (A)	2021年3月期 第1四半期 (3カ月間) (B)	増 減 (A) - (B)	(単位：百万円) (参考) 前期 2021年3月期 (12カ月間)
経 常 収 益	1	4,258	3,748	510	16,426
業 務 粗 利 益 ①	2	3,558	2,847	711	13,146
(コア業務粗利益(①-②))	3	3,555	2,846	708	13,501
資 金 利 益	4	3,392	2,774	617	12,584
役 務 取 引 等 利 益	5	175	37	137	842
そ の 他 業 務 利 益	6	△ 9	35	△ 44	△ 280
(うち国債等債券損益)②	7	3	1	2	△ 354
経費(除く臨時処理分)(△)	8	2,577	2,561	16	10,329
人 件 費(△)	9	1,291	1,321	△ 29	5,200
物 件 費(△)	10	1,071	1,036	34	4,198
税 金(△)	11	213	202	10	929
実 質 業 務 純 益 ③	12	981	286	694	2,817
コ ア 業 務 純 益 (③-②)	13	978	285	692	3,172
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	978	273	704	3,083
一般貸倒引当金繰入額(△)④	15	27	-	27	462
業 務 純 益	16	953	286	666	2,355
臨 時 損 益	17	△ 454	177	△ 631	△ 369
う ち 株 式 等 関 係 損 益	18	72	△ 1	74	8
う ち 不 良 債 権 処 理 額 (△)⑤	19	503	46	456	344
う ち 貸 倒 引 当 金 戻 入 益 ⑥	20	-	188	△ 188	-
う ち 偶 発 損 失 引 当 金 戻 入 益 ⑦	21	-	42	△ 42	48
う ち 償 却 債 権 取 立 益	22	1	1	△ 0	8
経常利益(△は経常損失)	23	499	464	34	1,985
特 別 損 益	24	△ 37	△ 6	△ 30	△ 10
税引前四半期純利益(△は税引前四半期純損失)	25	461	457	4	1,975
法人税、住民税及び事業税(△)	26	98	4	93	309
法 人 税 等 調 整 額 (△)	27	124	59	64	△ 51
四半期純利益(△は四半期純損失)	28	239	393	△ 154	1,717
与信関係費用(④+⑤-⑥-⑦)	29	531	△ 184	716	758

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 2021年3月期における与信関係費用には、債権売却益0百万円を含んでおります。

2. 金融再生法開示債権の状況

・きらやか銀行の金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の残高）は、前年同月末比20億22百万円増加の192億95百万円となりました。総与信額に占める割合は、前年同月末比0.25ポイント上昇の1.86%となりました。

・仙台銀行の金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の残高）は、前年同月末比31億31百万円増加の240億8百万円となりました。総与信額に占める割合は、前年同月末比0.17ポイント上昇の2.84%となりました。

(1) 2行合算

(単位：百万円)

	2021年6月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年6月末
		2021年3月末比	2020年6月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,769	849	1,072	3,919	3,696
危険債権	32,526	△ 2,848	3,712	35,374	28,813
要管理債権	6,009	66	368	5,942	5,640
(合計)(A)	43,304	△ 1,933	5,154	45,237	38,150
正常債権	1,834,447	△ 127	21,557	1,834,574	1,812,889
(総与信額)(B)	1,877,752	△ 2,060	26,711	1,879,812	1,851,040
総与信額に占める割合(A/B)	2.30%	△ 0.10 <small>ポイント</small>	0.24 <small>ポイント</small>	2.40%	2.06%

(2) きらやか銀行

(単位：百万円)

	2021年6月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年6月末
		2021年3月末比	2020年6月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,212	300	868	2,911	2,343
危険債権	13,362	△ 2,545	1,213	15,907	12,149
要管理債権	2,721	△ 1	△ 58	2,722	2,779
(合計)(A)	19,295	△ 2,246	2,022	21,541	17,272
正常債権	1,014,560	125	△ 38,529	1,014,435	1,053,090
(総与信額)(B)	1,033,856	△ 2,120	△ 36,507	1,035,977	1,070,363
総与信額に占める割合(A/B)	1.86%	△ 0.21 <small>ポイント</small>	0.25 <small>ポイント</small>	2.07%	1.61%

(3) 仙台銀行

(単位：百万円)

	2021年6月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年6月末
		2021年3月末比	2020年6月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,556	548	204	1,008	1,352
危険債権	19,164	△ 303	2,499	19,467	16,664
要管理債権	3,287	68	427	3,219	2,860
(合計)(A)	24,008	312	3,131	23,695	20,877
正常債権	819,886	△ 252	60,087	820,139	759,798
(総与信額)(B)	843,895	60	63,219	843,835	780,676
総与信額に占める割合(A/B)	2.84%	0.04 <small>ポイント</small>	0.17 <small>ポイント</small>	2.80%	2.67%

3. 時価のある有価証券の評価損益

(注) 仙台銀行が保有する有価証券については、企業結合会計に基づくじもとホールディングス連結会計上の簿価と子銀行の簿価が相違するため、じもとホールディングス連結の有価証券評価損益と子銀行の有価証券評価損益の総額の合計は一致いたしません。

(単位：百万円)

		2021年6月末					2021年3月末			2020年6月末		
		評価損益	評価益	評価損	2021年3月末比	2020年6月末比	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
じもとHD (連結)	満期保有目的	△ 53	-	53	5	△ 45	△ 58	-	58	△ 7	-	7
	その他有価証券	155	5,711	5,555	△ 1,055	3,398	1,211	6,614	5,402	△ 3,242	3,944	7,186
	株式	190	426	235	△ 298	152	489	556	66	38	422	384
	債券	△ 19	246	266	219	4	△ 239	183	422	△ 24	413	437
	その他	△ 15	5,037	5,052	△ 976	3,241	960	5,874	4,913	△ 3,256	3,108	6,364
2行合算 (単体)	満期保有目的	△ 103	-	103	16	△ 23	△ 120	-	120	△ 80	0	81
	その他有価証券	144	5,721	5,576	△ 1,061	3,362	1,206	6,619	5,413	△ 3,218	3,965	7,184
	株式	130	438	308	△ 291	147	422	561	139	△ 16	439	456
	債券	33	249	215	207	△ 23	△ 173	187	361	56	420	363
	その他	△ 19	5,032	5,052	△ 977	3,239	957	5,870	4,912	△ 3,258	3,105	6,364
きらやか銀行 (単体)	満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他有価証券	△ 3,198	825	4,023	△ 518	1,486	△ 2,679	982	3,662	△ 4,684	889	5,574
	株式	138	225	86	△ 73	199	212	258	45	△ 60	316	377
	債券	22	207	185	160	△ 128	△ 138	147	286	151	358	207
	その他	△ 3,359	391	3,751	△ 605	1,415	△ 2,754	576	3,331	△ 4,775	214	4,989
仙台銀行 (単体)	満期保有目的	△ 103	-	103	16	△ 23	△ 120	-	120	△ 80	0	81
	その他有価証券	3,342	4,896	1,553	△ 543	1,876	3,885	5,636	1,750	1,465	3,075	1,609
	株式	△ 8	213	221	△ 218	△ 52	209	303	93	43	122	78
	債券	11	41	30	46	105	△ 35	39	75	△ 94	61	155
	その他	3,339	4,641	1,301	△ 372	1,823	3,711	5,293	1,581	1,516	2,891	1,374

(注) 1. 「評価損益」は、「満期保有目的の債券」については貸借対照表計上額と時価の差額を計上し、「その他有価証券」については時価評価しておりますので貸借対照表計上額と取得原価の差額を計上しております。

2. 2018年6月期に、きらやか銀行が満期保有目的の有価証券を売却したことに伴い、2020年3月期までに取得した仙台銀行の満期保有目的の有価証券は、じもとホールディングス連結においてその他有価証券に計上しております。

4. 預金等、預かり資産、貸出金の残高、自己資本比率(国内基準)

(1) 預金等の残高

・きらやか銀行の預金等の残高は、個人預金、法人預金及び公金預金の増加により、前年同月末比229億56百万円増加の1兆3,073億58百万円となりました。
 ・仙台銀行の預金等の残高は、個人預金及び法人預金の増加により、前年同月末比314億59百万円増加の1兆2,185億15百万円となりました。

(単位：百万円)

		2021年6月末	2021年3月末比	2020年6月末比	2021年3月末	2020年6月末
2行合算	預金等	2,525,874	55,348	54,415	2,470,525	2,471,459
	うち個人預金	1,613,755	15,922	55,257	1,597,833	1,558,498
	うち法人預金	654,147	△ 3,576	18,485	657,723	635,661
	うち公金預金	251,226	43,238	△ 19,322	207,987	270,549
きらやか銀行 (単体)	預金等	1,307,358	30,800	22,956	1,276,558	1,284,402
	うち個人預金	886,667	3,371	13,655	883,295	873,011
	うち法人預金	375,902	△ 982	5,947	376,885	369,955
	うち公金預金	41,797	29,205	3,344	12,591	38,452
仙台銀行 (単体)	預金等	1,218,515	24,548	31,459	1,193,967	1,187,056
	うち個人預金	727,088	12,551	41,601	714,537	685,487
	うち法人預金	278,245	△ 2,593	12,538	280,838	265,706
	うち公金預金	209,429	14,032	△ 22,667	195,396	232,096

(注) 預金等には、譲渡性預金を含んでおります。

(2) 預かり資産残高

・きらやか銀行の預かり資産残高は、公共債及び生命保険の減少により、前年同月末比94億62百万円減少の1,066億51百万円となりました。
 ・仙台銀行の預かり資産残高は、生命保険の減少等により、前年同月末比105億24百万円減少の939億6百万円となりました。

(単位：百万円)

		2021年6月末	2021年3月末比	2020年6月末比	2021年3月末	2020年6月末
2行合算	預かり資産残高	200,557	382	△ 19,987	200,174	220,544
	投資信託	34,742	1,548	3,888	33,194	30,854
	公共債(国債等)	7,234	109	△ 507	7,124	7,742
	生命保険	158,580	△ 1,274	△ 23,367	159,854	181,947
きらやか銀行 (単体)	預かり資産残高	106,651	△ 131	△ 9,462	106,782	116,113
	投資信託	22,959	48	1,383	22,911	21,575
	公共債(国債等)	1,772	△ 15	△ 54	1,788	1,826
	生命保険	81,919	△ 164	△ 10,791	82,083	92,711
仙台銀行 (単体)	預かり資産残高	93,906	514	△ 10,524	93,391	104,430
	投資信託	11,783	1,499	2,504	10,283	9,278
	公共債(国債等)	5,461	125	△ 453	5,336	5,915
	生命保険	76,661	△ 1,110	△ 12,575	77,771	89,236

(3) 貸出金の残高

- ・きらやか銀行の貸出金の残高は、昨年度実施しました住宅ローン債権証券化の影響により消費性ローンが前年同月末比で減少したこと等から、前年同月末比398億80百万円減少の1兆79億63百万円となりました。
- ・仙台銀行の貸出金の残高は、新型コロナウイルス感染症関連の資金需要への対応によって中小企業等貸出が増加したこと等により、前年同月末比613億86百万円増加の8,367億5百万円となりました。

(単位：百万円)

		2021年6月末	2021年3月末比	2020年6月末比	2021年3月末	2020年6月末
2行合算	貸出金	1,844,669	△ 2,135	21,505	1,846,804	1,823,163
	中小企業等貸出金残高	1,561,941	△ 2,248	47,956	1,564,189	1,513,984
	うち消費者ローン	504,669	6,437	△ 10,503	498,232	515,172
	中小企業等貸出金比率	84.67%	△ 0.02 ^{ポイント}	1.63 ^{ポイント}	84.69%	83.04%
きらやか銀行 (単体)	貸出金	1,007,963	△ 2,061	△ 39,880	1,010,025	1,047,844
	中小企業等貸出金残高	836,693	△ 873	△ 19,104	837,566	855,797
	うち消費者ローン	241,057	3,234	△ 28,868	237,823	269,925
	中小企業等貸出金比率	83.00%	0.08 ^{ポイント}	1.33 ^{ポイント}	82.92%	81.67%
仙台銀行 (単体)	貸出金	836,705	△ 73	61,386	836,779	775,319
	中小企業等貸出金残高	725,248	△ 1,375	67,060	726,623	658,187
	うち消費者ローン	263,612	3,203	18,364	260,409	245,247
	中小企業等貸出金比率	86.67%	△ 0.16 ^{ポイント}	1.78 ^{ポイント}	86.83%	84.89%

(4) 自己資本比率 (国内基準)

- ・じもとHD連結の自己資本比率は、前期末比0.07ポイント上昇し、8.19%となりました。
- ・きらやか銀行の自己資本比率は、単体で前期末比0.10ポイント上昇し8.19%、連結で前期末比0.08ポイント上昇し8.05%となりました。
- ・仙台銀行の自己資本比率は、単体で前期末比0.06ポイント上昇し8.40%、連結で前期末比0.06ポイント上昇し8.40%となりました。

(単位：百万円)

		2021年6月末	2021年3月末比	2020年6月末比	2021年3月末	2020年6月末
じもと HD (連結)	①自己資本比率	8.19%	0.07 ^{ポイント}	0.08 ^{ポイント}	8.12%	8.11%
	②自己資本の額	112,319	861	△ 1,680	111,458	114,000
	③リスク・アセット等	1,370,412	△ 1,989	△ 35,036	1,372,401	1,405,449
	④総所要自己資本額	54,816	△ 79	△ 1,401	54,896	56,217
きらやか 銀行 (単体)	①自己資本比率	8.19%	0.10 ^{ポイント}	0.09 ^{ポイント}	8.09%	8.10%
	②自己資本の額	62,120	786	△ 3,030	61,333	65,151
	③リスク・アセット等	757,935	693	△ 46,136	757,241	804,072
	④総所要自己資本額	30,317	27	△ 1,845	30,289	32,162
きらやか 銀行 (連結)	①自己資本比率	8.05%	0.08 ^{ポイント}	0.10 ^{ポイント}	7.97%	7.95%
	②自己資本の額	61,650	590	△ 2,996	61,059	64,646
	③リスク・アセット等	765,516	△ 152	△ 46,691	765,668	812,207
	④総所要自己資本額	30,620	△ 6	△ 1,867	30,626	32,488
仙台銀行 (単体)	①自己資本比率	8.40%	0.06 ^{ポイント}	0.14 ^{ポイント}	8.34%	8.26%
	②自己資本の額	51,147	250	1,764	50,896	49,383
	③リスク・アセット等	608,714	△ 1,368	11,567	610,083	597,147
	④総所要自己資本額	24,348	△ 54	462	24,403	23,885
仙台銀行 (連結)	①自己資本比率	8.40%	0.06 ^{ポイント}	0.13 ^{ポイント}	8.34%	8.27%
	②自己資本の額	51,150	251	1,762	50,898	49,387
	③リスク・アセット等	608,678	△ 1,368	11,578	610,047	597,100
	④総所要自己資本額	24,347	△ 54	463	24,401	23,884

- (注) 1. ① 自己資本比率 = ② 自己資本の額 ÷ ③ リスク・アセット等
 2. ④ 総所要自己資本額 = ③ リスク・アセット等 × 4%